

# 日本の最果て知床 羅臼町地域おこし協力隊通信 10月号

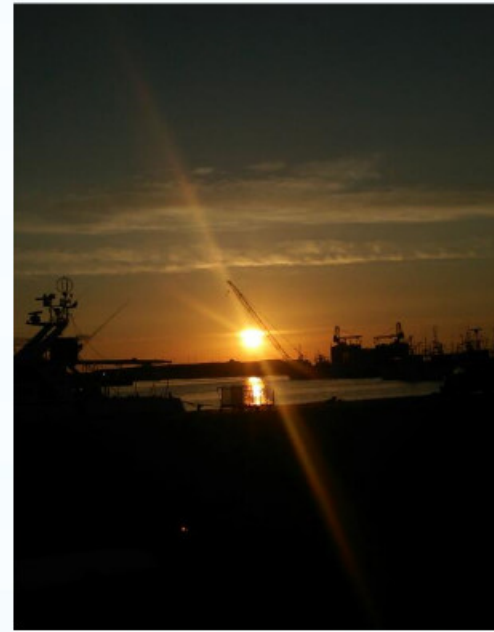
ケータイやスマートフォンなどで撮影した  
 写真のコンテスト「らうす写メコンまつり」  
 知床世界遺産ルサフィールドハウスに来館した  
 みなさんの投票の結果、上位3作品が決定しました！



2位 三重県 服部瑠奈さん

ちょうど海からとび出した  
 しゅんかんをとらえています。すごいです。  
 by みっちー

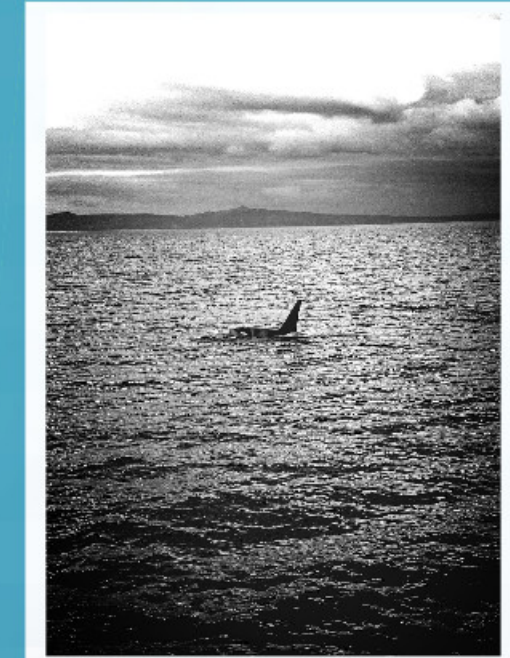
自分も、こんな写真をとってみたいです。  
 by チーコの母



1位 春日町 みーさん

海の街感！  
 by 匿名さん

夕ぐれがとても美しい。  
 by あーちゃん



3位 本町 じえしかさん

シャチ最高!!  
 by ぼうやさん

ご参加いただいた皆様、  
 誠にありがとうございました!!

写メコンへのご意見 ご要望 ご質問はこちら！  
[rausu.syamecon@gmail.com](mailto:rausu.syamecon@gmail.com)



「選ばれた人たちの利用の場」という希少性を定義づける体制から脱却し、年齢やハンディキャップ関係なく広い層の人々が知床の自然を学び、恩恵を享受するエコツアーの場となるよう、願ってやみません。

・ ・ ・ そんな事を考えている間に夏は過ぎさり、ルサフィールドハウスは冬季閉館を迎えました。

すぐそこまで来ている羅臼の冬。遠くロシアからオオワシやトドといった野生動物をはじめ、流水も訪れます。

そして、それらとの出会いを求める観光客たちも・・・。

羅臼の冬は、とつてもにぎやかなのです

現在、先端部地区に立ち入るにはアウトドアを熟知し不測の事態にも万全に対処できる人でなければ危険とされています。

「選ばれた人たちの利用の場」という希少性を定義づける体制から脱却し、年齢やハンディキャップ関係なく広い層の人々が知床の自然を学び、恩恵を享受するエコツアーの場となるよう、願ってやみません。

7月には、羅臼町教育委員会の事業「ふるさと少年探検隊」にカウンセラースタッフとして、子どもたちと濃密な5泊6日の先端部ライフを過ごしてきました。

先端部地区は人々の生活、漁業の場として利用されていた経緯があり、今回ふるさと少年探検隊に参加した際はその片鱗を見たいような、気がしました。

羅臼町の終点泊から、徒歩でしか行く事の出来ない知床岬までの区間（以下先端部地区）の情報を提供する接客の傍ら、施設を利用した町民向けイベント「写メコンまつり」や、期間限定喫茶「ルサカフェ」のOPEN、小規模な「レッキング」を他団体の協力の元、実施しました。

今年5月から10月の間、「知床世界遺産ルサフィールドハウス」に勤務しました。

地域おこし協力隊  
 勤務開始から  
 6ヶ月を過ぎて

